SAT−1TI−JRM

保存用

KOIZUMI

コイズミ学習デスク
取扱説明書（保証書付き）

棚付デスク

- **ODF-299NS**
- **ODF-300BS**

目　次

1 各部の名称……2
2 付属品……3
3 商品のスタイル……4
4 組立方法……5〜11
5 使用方法……12〜15
6 照明器具の使用方法……16〜18
7 使用上のご注意……19
8 点検と修理が必要なとき……19
9 コイズミ学習机保証書……20
10 お客様ご相談窓口……20

⚠

このたびはコイズミ学習家具をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- 事故防止等、安全のため、「使用上の注意」を必ずお守りいただいてご使用ください。
- お読みになった後は大切に保存していただき取扱いのわからないときにお役立てください。

この取扱説明書のマークについて　SAFETY INFORMATION

警告 WARNING　説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。
A WARNING IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN CAUSE INJURY OR DEATH.

注意 CAUTION　説明書中の「注意」は障害や物的損害の原因になる危険を示します。
A CAUTION IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN DAMAGE EQUIPMENT.

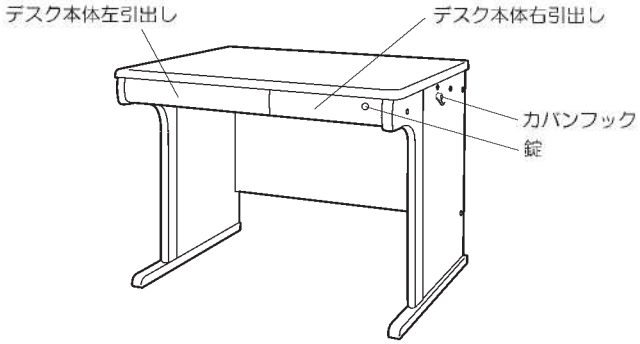
⃠ このマークのついている説明文は必ず守ってください。
KEEP THE NOTICE WITH THIS MARK.

⚠ このマークのついている説明文は特に注意してください。
BE CAREFUL THE NOTICE WITH THIS MARK.

1　各部の名称（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

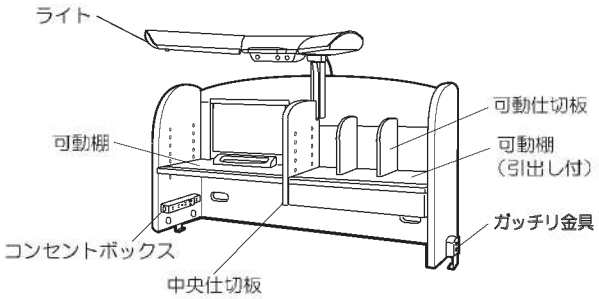
（1）デスク本体

※品番は本体左引出し内の品質表示ラベルにてご確認ください。



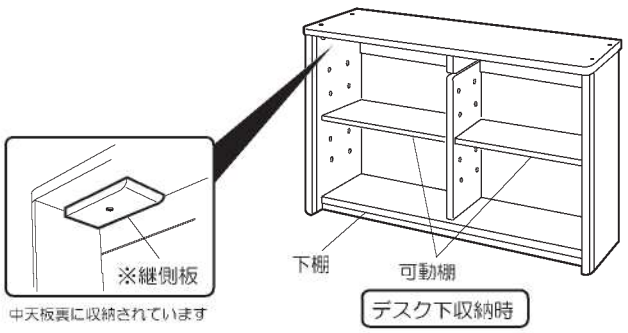
（2）上棚

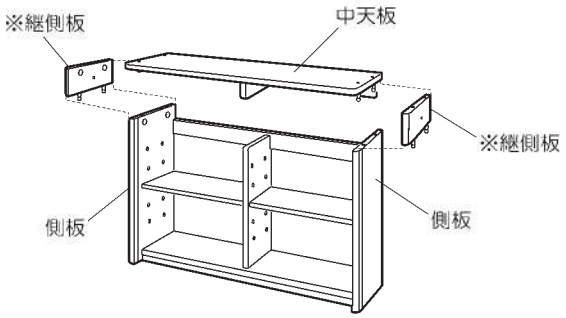
※品番は上棚背面の品番表示ラベルにてご確認ください。



（3）下台

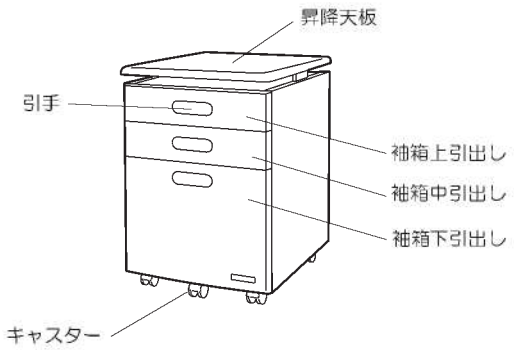
※品番は上棚背面の品番表示ラベルにてご確認ください。





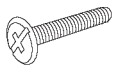
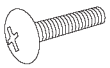
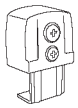
（4）袖箱

※品番は袖箱上段引出し内の品番表示ラベルにてご確認ください。



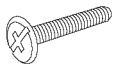
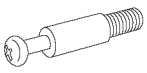
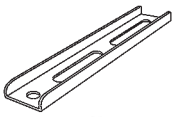
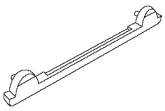
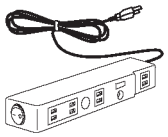
2　付属品　（付属品がすべてそろっているかご確認ください。）

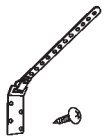
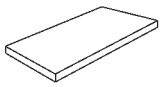
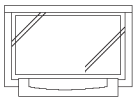
■デスク本体付属品　※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

ボルト(M6X35mm)	カバンフック	トラスボルト	ガッチリ金具	スペーサー	カギ	穴埋めキャップ
SAT1BZ635	SAT9KF07V SATTKF07R	SAT6BW625	WINTGK40G	WINTSSGK1	LTFTKD503	SAT9AC18V SAT6AC18R
						
×9	×1	×1	×1set	×1set	×1set	×2

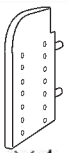
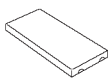
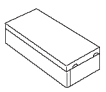
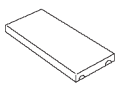
ナット用キャップ	ボルト用キャップ
SZC9DC07V SZC7DC06R	SAT7BC60V SAT6BC60R
×3	×8

■ 上棚・下台付属品　※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

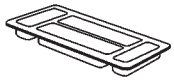
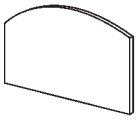
ボルト(M6X35mm)	ボルト(M6X20mm)	連結ピン	回転金具	ユニットデスク用連結金具	樹脂棚ダボ	コンセントボックス
SAT1BZ635	SAT6BU620	SAT6MB605	SAT6MKN18	SZCTLKSUL	SZCTTD09G	KRE9SW10L
						
×3	×6	×8	×8	×2	×8	×1

ナット用キャップ	穴埋めキャップ	転倒防止金具	滑りシート	バックボード
SZC9DC07V SZC7DC06R	SAT9AC18V SAT6AC18R	SZC8TN002	GKU8YS235	ﾎﾞｰﾄﾞ:YDG1BP061 ﾍﾞｰｽ:SATTBPWT8
				
×5	X3	×1セット	×4	×1セット

■ 上棚・下台棚板付属品　※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

中央仕切板	可動棚(上棚用)		可動棚(下台用)	可動仕切板
				
×1	×1	引出し付X1	×2	×2

■袖箱付属品　※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

キャスター(5個入)	ペントレー	仕切板(下引出し用)
SAT9WC94G	SAT1PE50G	
		
×1セット	×1	×2

（注）
※キャスター1セットは、ストッパー付が2個ストッパー無しが3個となります。

※枠内の9桁表記は、部品品番となります。カバンフックとキャップ類は、上段がNS色用、下段がBS色用の部品品番となります。

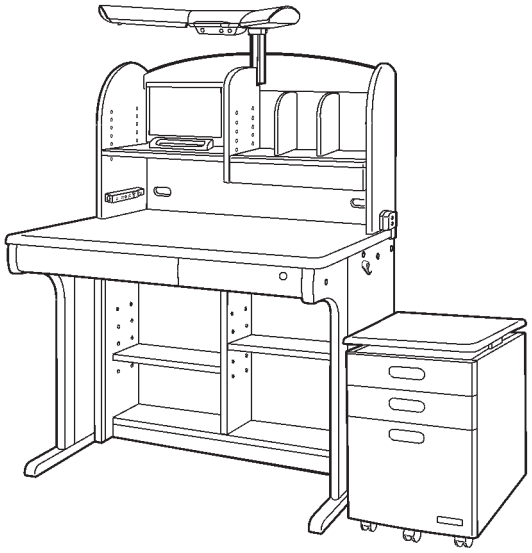
3　商品の使用スタイル

（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

この商品は、お子様のライフスタイルに合わせて使用スタイルが変えられます。

●ステップ１（スタンダードスタイル）

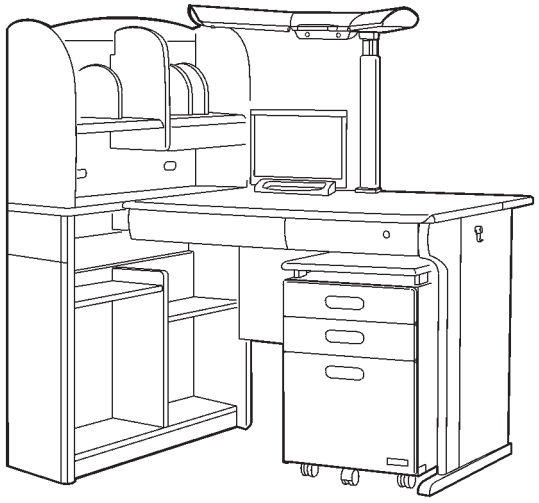
上棚を机の上に置いて連結させ、棚付きデスク
として使用ができます。
省スペースでの使用に優れたスタイルです。



●ステップ２（ユニットスタイル）

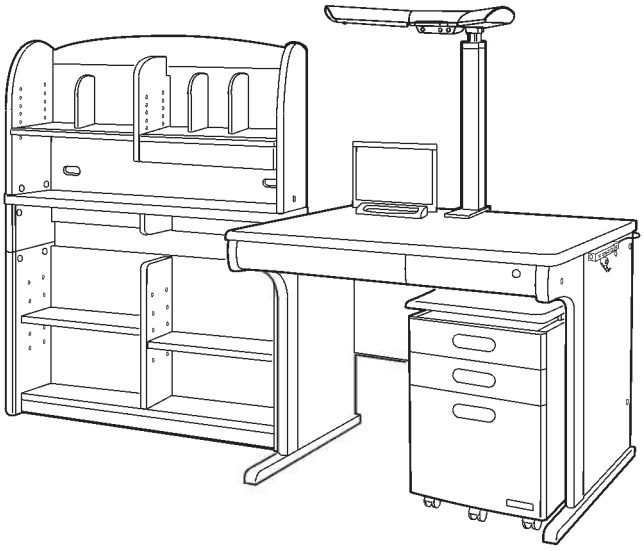
デスクとシェルフを連結させ、ユニットデスク
として使用ができます。
コンパクトに天板を広く使用できるスタイルです。
※左右の組替えが可能です。

ステップ1からステップ2への組替え方法は
10～11ページを参照してください。



●ステップ３（セパレートスタイル）

デスクとシェルフを分割して使用ができます。
デスクを広く、シェルフの収納を最大限に発揮
できるスタイルです。
お部屋の間取りに合わせてレイアウトすることに
より、部屋をすっきりと使用することができます。

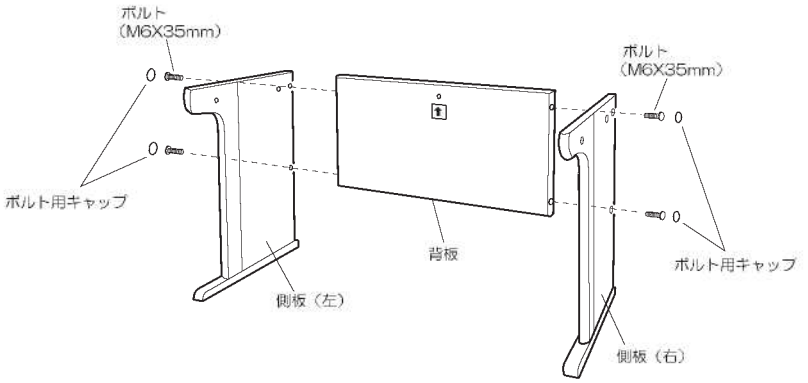


4 組立方法 ステップ1･ステップ3 （イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

■ステップ1･ステップ3の組立方法 （組立は2人でおこなってください。）

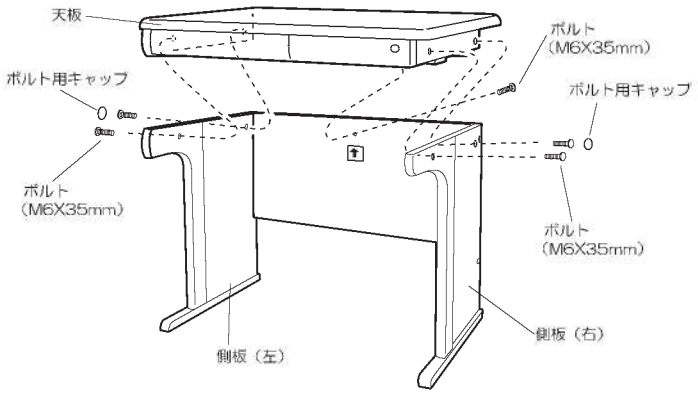
（1）背板と側板の取付け

右の図を参照して左右の側板を背板にボルト（M6X35mm･4本）を用いて固定してください。
※このとき、背板の上下に注意してください。



（2）天板の取付け

①右の図を参照して左右の側板と天板をボルト（M6X35mm･4本）を用いて固定してください。
②組み上がりましたら、すべてのボルトをしっかりと締め付けてください。
③すべてのボルトの頭にボルト用キャップ8個を取り付けてください。
※注）前側の固定ボルト用のキャップはありません。
④背板の後ろから、ボルト（M6×35mm･1本）を用いてしっかりと締め付けてください。

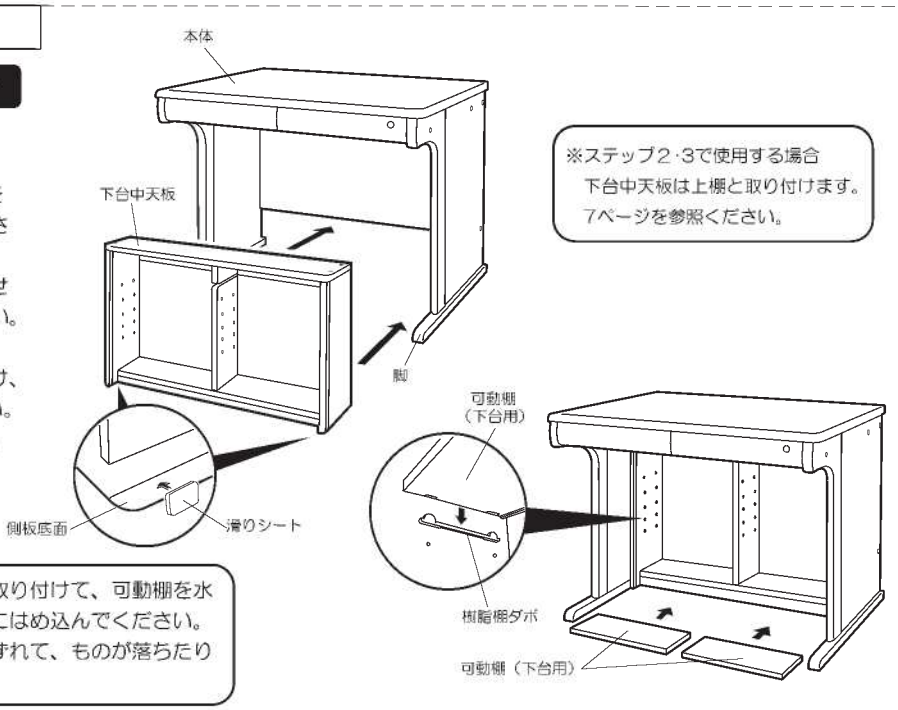


（3）下台・可動棚の取付け

ステップ1で使用する場合

①下台を、本体下に手前より押し込むように収納してください。
※付属の滑りシート（4枚）の両面テープをはがし、下台側板の前後底面に、はみ出さないよう貼り付けてください。
※下台を側板の内側に、平行にすべり込ませ本体の背板にあたるまで押し込んでください。

②下台の側板と仕切板に樹脂棚ダボを取り付け、可動棚（下棚用）2枚を取り付けてください。
●ダボの差し込み位置を変えることにより、棚板の高さを調整することができます。



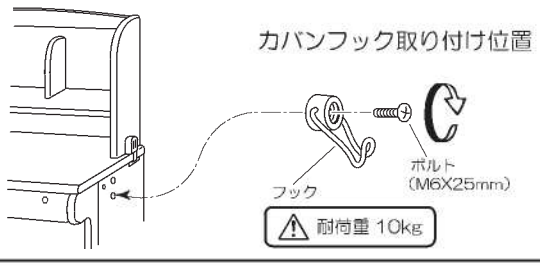
※ステップ2･3で使用する場合
下台中天板は上棚と取り付けます。
7ページを参照ください。

⃠側板と仕切板の穴に樹脂棚ダボを確実に取り付けて、可動棚を水平に保つように、可動棚の下の溝に確実にはめ込んでください。
➡中途半端な取り付けでは、可動棚がはずれて、ものが落ちたりして、けが・破損の原因になります。

（4）カバンフックの取付け

①右の図を参照して、デスク本体の側板の左右または、上棚にカバンフックを取り付けてください。

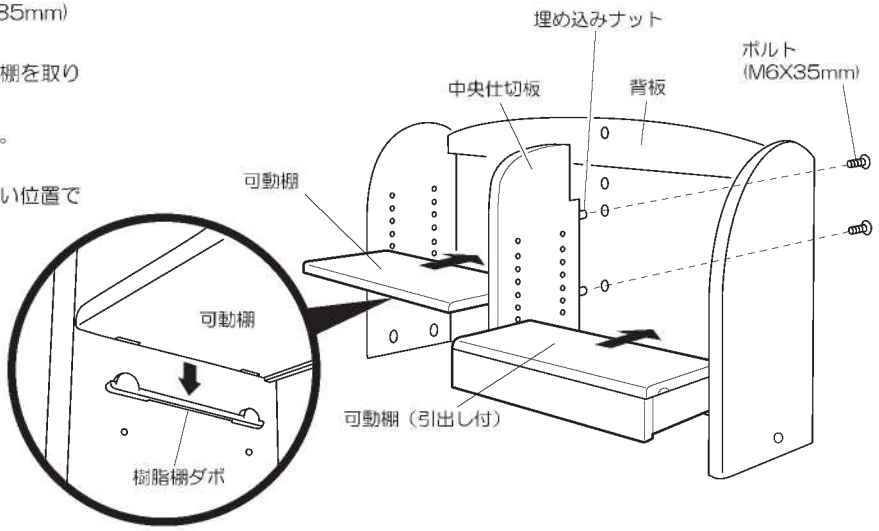
⃠フックには10Kgを超える物を掛けないでください。
また、衝撃を加えたりしないでください。
➡けが・破損の原因になることがあります。



4 組立方法 ステップ1･ステップ3 （イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

（5）中央仕切板・可動棚の取付け

①上棚の背板中央にある下側2ヵ所の穴に、中央仕切板の後側の埋め込みナットを差し込んでください。
②中央仕切板を、背板の後側からボルト(M6X35mm)2本で固定してください。
③側板と仕切板に樹脂棚ダボを取り付け、可動棚を取り付けてください。
※引出し付きの可動棚の取り付けも同様です。
※可動棚は７段階の高さ調整が可能です。
※左右の組替えも自由に行えます。使いやすい位置で使用してください。



⃠中央仕切板の埋め込みナットは、背板の穴に確実に差し込みしっかりとボルトで固定してください。
中途半端な取り付けでは、中央仕切板がゆるみ、可動
➡棚が落ちたり、しっかりと固定できない原因になることがあります。

⃠側板と仕切板の穴に樹脂棚ダボを確実に取り付けて、可動棚を水平を保つように、可動棚の下の溝に確実にはめ込んでください。
➡中途半端な取り付けでは、可動棚がはずれて、ものが落ちたり、小引出しを引き出したとき倒れたりして、けが・破損の原因になることがあります。

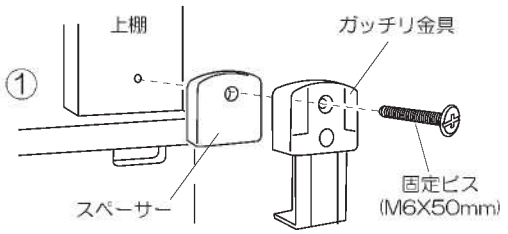
（6）上棚の取付け （ガッチリ金具の取付け）

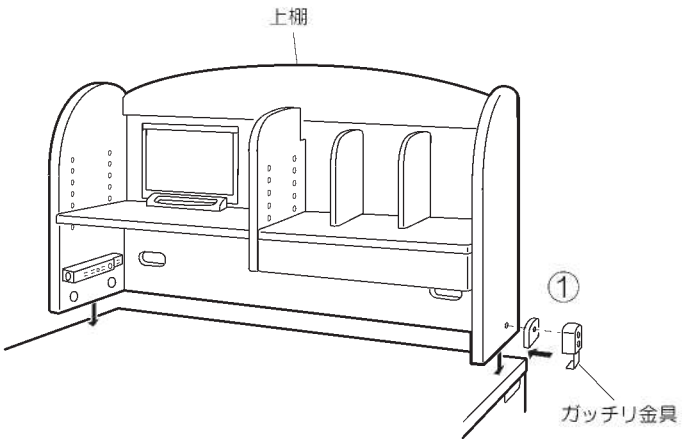
ステップ1で使用する場合

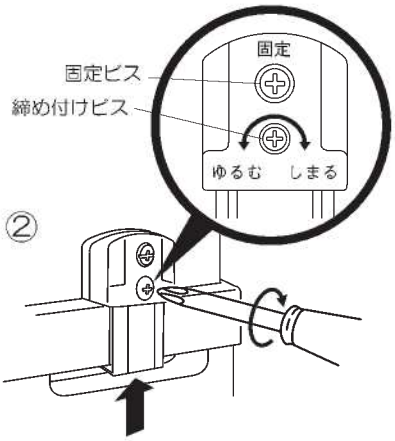
①ガッチリ金具に固定ビスを通し、スペーサーを挟みながら上棚のネジ位置に合わせて締め付けます。

②ガッチリ金具の締付けビスを締まる方向に締め付けると爪が上棚と天板を固定します。締め付けの際は金具を手でしっかりと持って締め付けてください。

⃠固定ビスがゆるんでいないか時々点検し、ゆるみはじめたら、しっかり締め直してください。
➡ゆるんだまま使用すると、上棚が倒れて、けがをする原因になります。







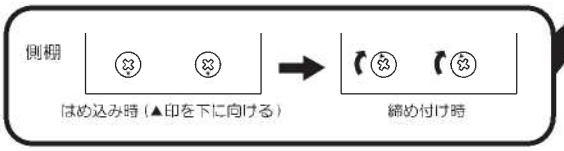
4 組立方法 ステップ3

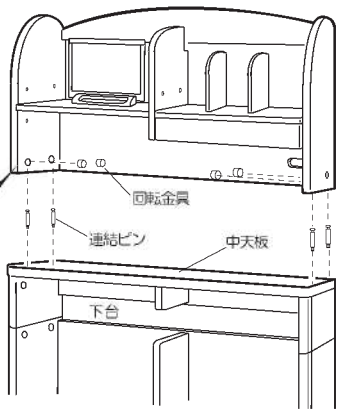
（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

（7）上棚と下台の取付け

ステップ3で使用する場合

①下台中天板に連結ピンを4本をねじ込み、上方から上棚をのせてください。
②上棚の左右側板に回転金具(大)を4個はめ込み、⊕ドライバーで右へ回し、締め付けてください。



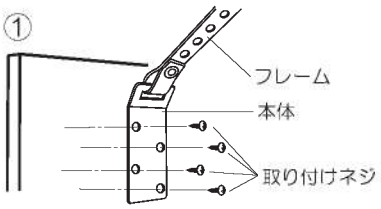


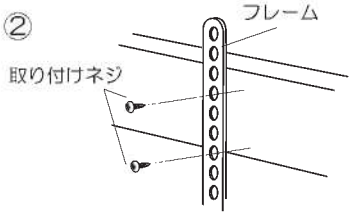
※下台の横側板の組立方法は、8ページの（3）を参照してください。

■転倒防止金具の取付け方法

①転倒防止金具（本体）を家具のシェルフ上部に付属のネジ4本にて取付けてください。
※取付け部は 18mm 以上の厚みで硬い木部を選んでください。
②壁または柱など（木部）、付属のネジ2本が取り付けられるところにフレームの穴をあわせてネジ止めしてください。
※このとき、フレームの長さを任意に位置に合わせてください。

No.	部品名	数	No.	部品名	数
1	転倒防止金具	1個	2	取り付けネジ	6本

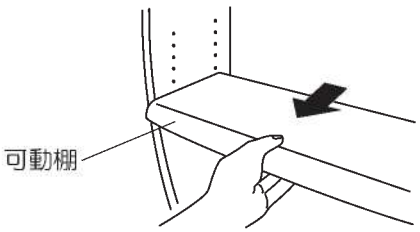




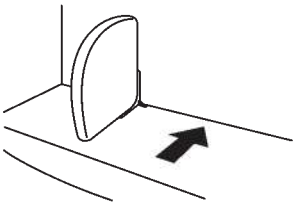
■可動仕切板の取付け

●可動棚への取付け方法

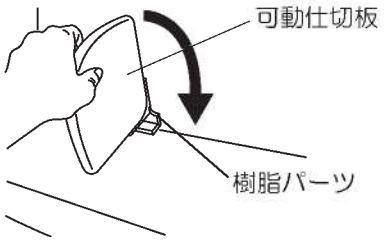
※可動仕切板を取り付ける際は、上に物がのっていないことを確認してください。



①可動棚を持ち上げて、手前に引き出してください。



③樹脂棚ダボが浮いていないか確かめてから可動棚を元の位置にもどしてください。



②可動棚の後に樹脂パーツをはめ込んでください。

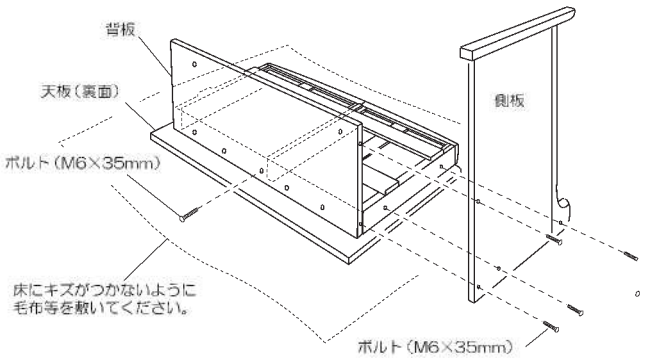
4 組立方法 ステップ2 （イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

■ステップ2の組立方法 （組立は2人でおこなってください。）

（1）背板と側板の取付け

①右の図を参照にして、背板を本体天板にボルト（M6×35mm·1本）を用いて固定してください。
※このとき、背板の上下に注意してください。

②側板を背板と本体天板にボルト（M6×35mm·4本）を用いて組み付けてください。
※このとき、シェルフと連結しない方に側板を組み付けます。

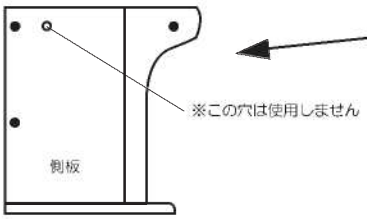


（2）側板の取付け

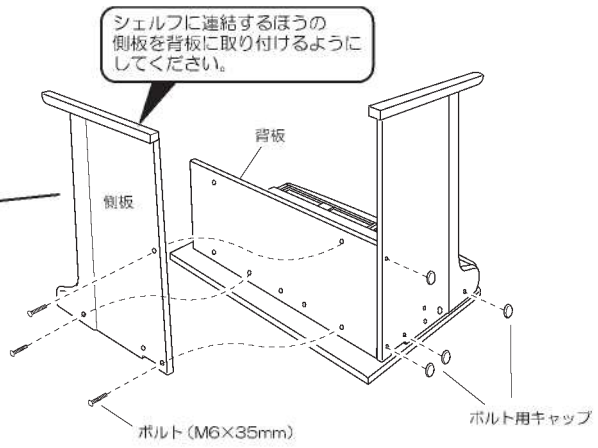
①右の図を参照にして、側板を背板にボルト（M6×35mm·3本）を用いて固定してください。

②組み上りましたら、すべてのボルトをしっかりと締付けてください。

③（1）で取り付けた側板のボルトの頭にボルト用キャップ4個を取り付けてください。



⚠ デスク本体付属品のボルト１本が残ります。



（3）継側板の取付け

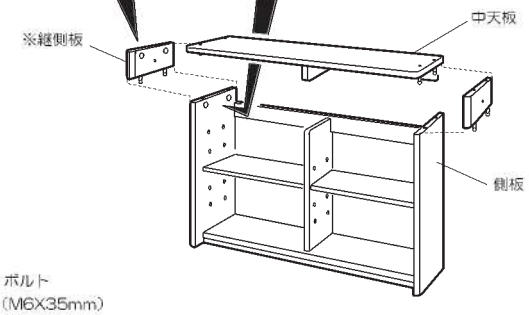
①側板上方内側の回転金具を⊕ドライバーで左へ回し、中天板を取り外します。

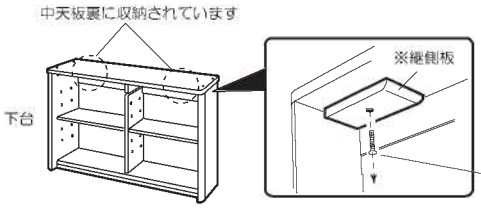
②中天板裏面に収納されている継側板のボルトを回し、取り外します。

③取り外した継側板に連結ピン4本をねじ込んでください。

③継側板にて中天板と側板を連結します。

④継側板の穴に回転金具を4個はめ込み、ドライバーで右へ回し締め付けてください。



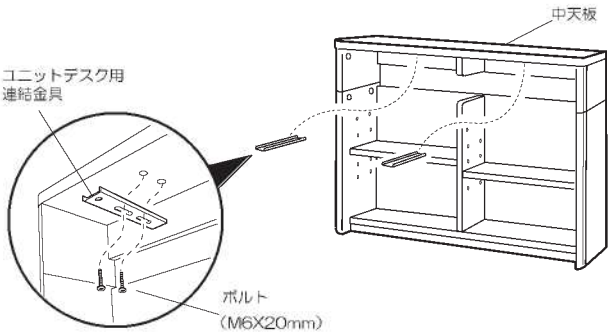


（4）ユニットデスク用連結金具の取付け

①右の図を参照にして、中天板裏面にボルト（M6×20mm·4本）を用いて、ユニットデスク用連結金具2個を取り付けて下さい。

※ユニットデスク用連結金具には、表裏がありますのでご注意ください。

⚠ ステップ2（ユニットスタイル）での使用以外は取り付けないでください。
➡ 袖箱を奥まで収納した際に、金具と当たって傷や破損の原因になります。



4 組立方法 ステップ2

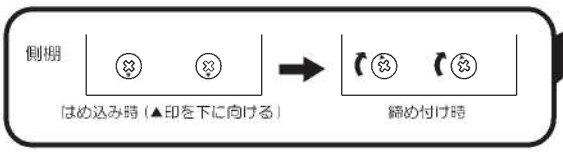
（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

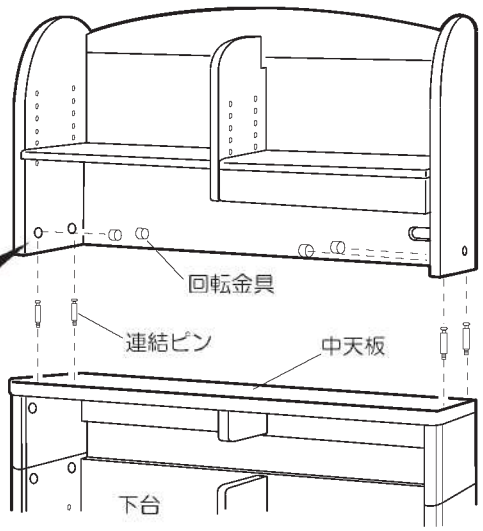
（5）上棚と下台の取付け

①下台中天板に連結ピンを4本をねじ込み、上方から上棚をのせてください。

②上棚の左右側板に回転金具(大)を4個はめ込み、⊕ドライバーで右へ回し、締め付けてください。

※可動仕切板の取付け方法は、7ページを参照してください。





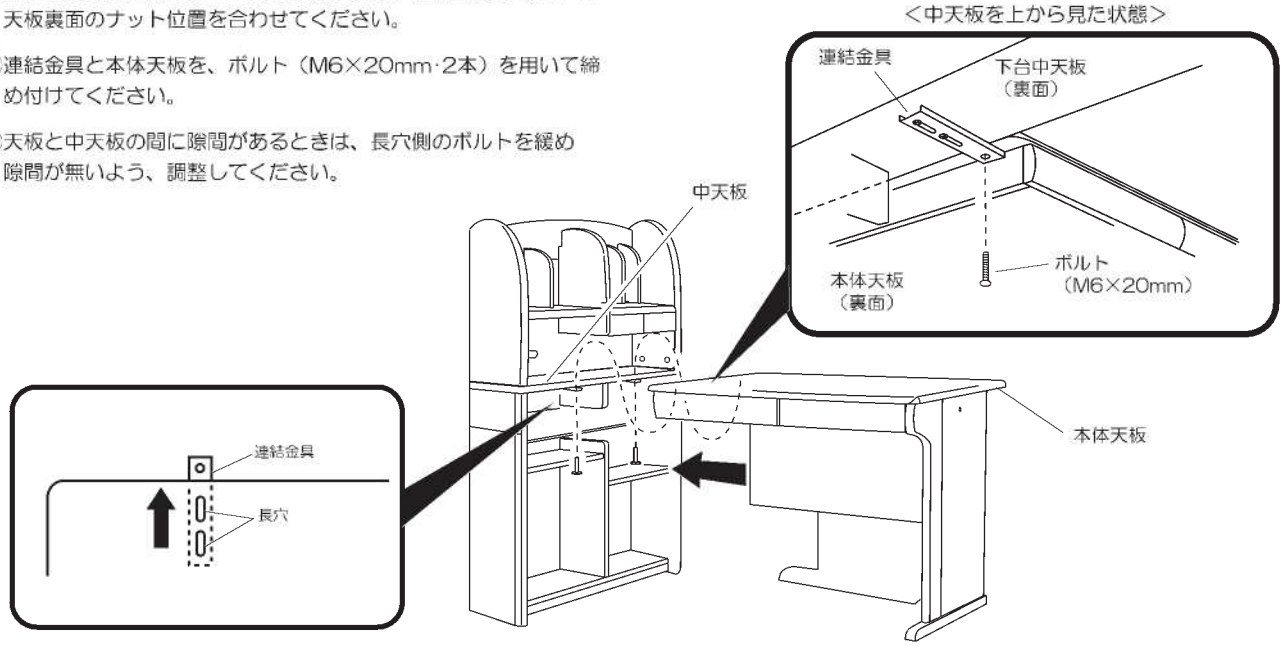
（6）デスク天板と下台中天板の連結

①8ページ（4）で取り付けた、ユニットデスク連結金具が下図の様に中天板から最後まで出ていることを確認してください。

②連結金具の出っ張りに本体天板を仮置きし、連結金具の穴と本体天板裏面のナット位置を合わせてください。

③連結金具と本体天板を、ボルト（M6×20mm･2本）を用いて締め付けてください。

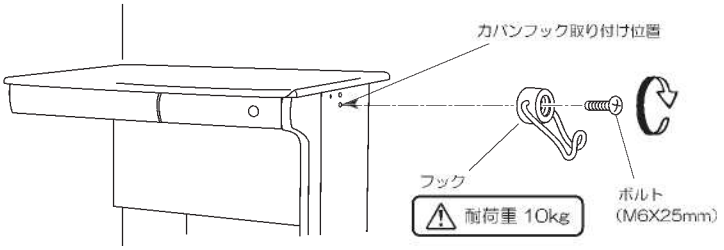
④天板と中天板の間に隙間があるときは、長穴側のボルトを緩め隙間が無いよう、調整してください。



（7）カバンフックの取付け

①右の図を参照して、デスク本体の側板にカバンフックを取り付けてください。

⃠フックには10Kgを超える物を掛けないでください。
また、衝撃を加えたりしないでください。
➡けが・破損の原因になることがあります。

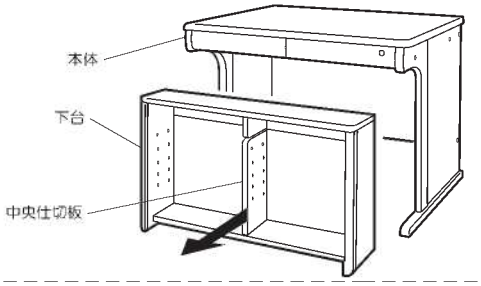


4 組立方法　スタイルの組替え　（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

■スタンダードスタイルからユニットスタイルへの組替方法　（組替えは2人でおこなってください。）

（1）下台の取り外し

右の図を参照して、下台の中央仕切板を引っ張るようにして本体下より取り出してください。



（2）継側板の取付け

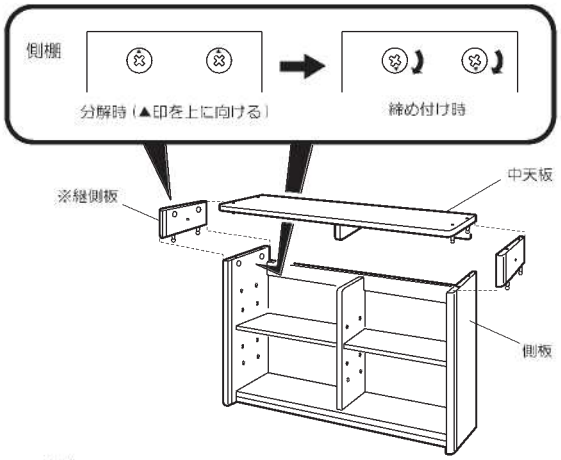
①側板上方内側の回転金具を⊕ドライバーで左へ回し、中天板を取り外します。

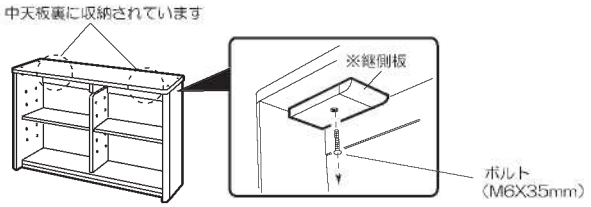
②中天板裏面に収納されている継側板をボルトを回し取り外します。

③取り外した継側板に連結ピン4本をねじ込んでください。

③継側板にて中天板と側板を連結します。

④継側板の穴に回転金具(大)を4個はめ込み、ドライバーで右へ回し締め付けてください。



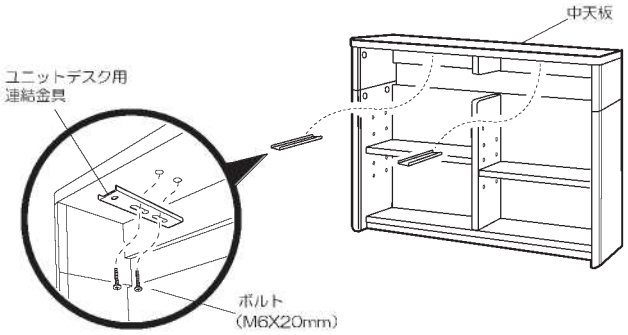


（3）ユニットデスク用連結金具の取付け

①右の図を参照にして、中天板裏面にボルト（M6×20mm･4本）を用いて、ユニットデスク用連結金具２個を取り付けて下さい。

※ユニットデスク用連結金具には、表裏がありますのでご注意ください。

⚠ ステップ１、ステップ３にする際は、必ず連結金具を取り外してください。
➡ 袖箱を奥まで収納した際に、金具と当たって傷や破損の原因になります。

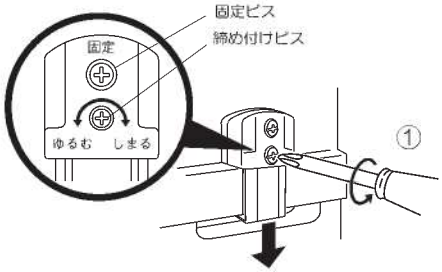


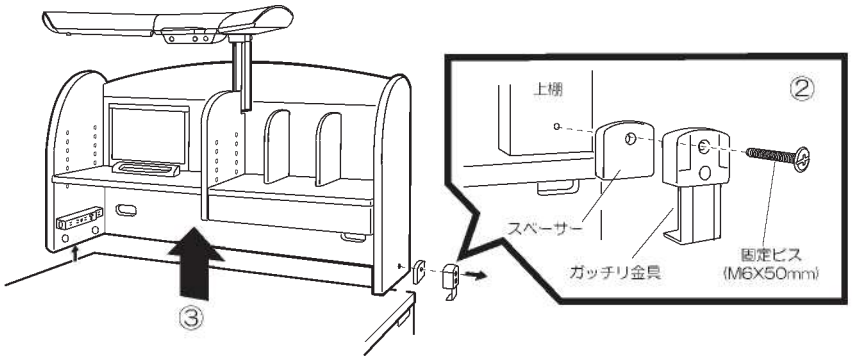
（4）上棚の取り外し　（ガッチリ金具の取り外し）

①ガッチリ金具の締付けビスを「ゆるむ」方向に回すと爪がゆるみ、上棚と天板が外れます。

②ガッチリ金具とスペーサーを取り外します。

③上棚をゆっくり取り外します。



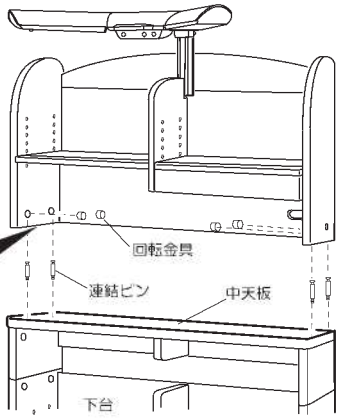


4 組立方法 スタイルの組替え （イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

（5）上棚と下台の取付け

①下台中天板に連結ピンを4本をねじ込み、上方から上棚をのせてください。

②上棚の左右側板に回転金具(大)を4個はめ込み、⊕ドライバーで右へ回し、締め付けてください。

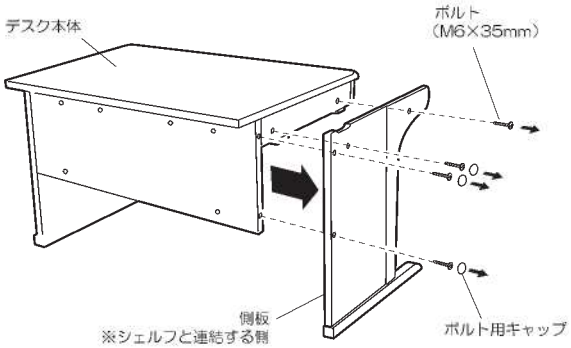


（6）側板の取り外し

①シェルフと連結する方の側板に取付けているボルト用キャップを全て取り外します。

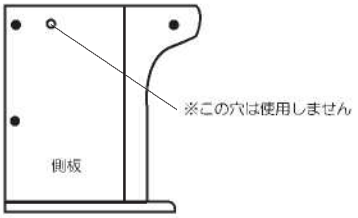
②側板を固定しているボルト（M6×35･4本）を取り外します。

⃠ 作業は必ず２人でおこない、１人が側板を外した方の天板をシェルフとの連結が完了するまで、しっかりと支えてください。
➡ケガ・破損の原因になります。

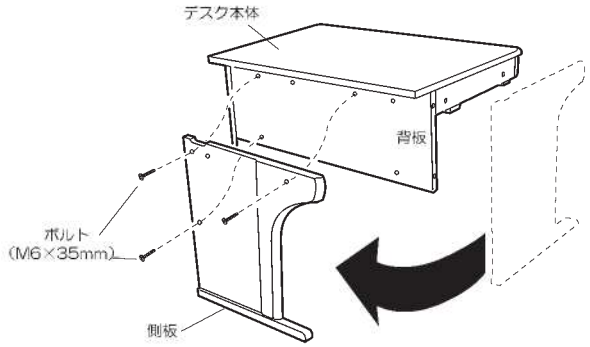


（7）側板と背板の連結

①（6）で取り外した側板を、デスク本体の背板に取り外したボルト（M6×35･3本）を用いて取り付けてください。



⚠ デスク本体付属品のボルト１本が残ります。



（8）デスク天板と下台中天板の連結

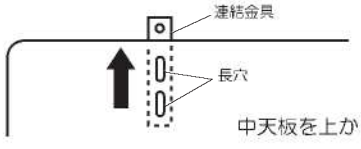
①10ページ（3）で取り付けた、ユニットデスク連結金具が下図のように中天板から最後まで出ていることを確認してください。

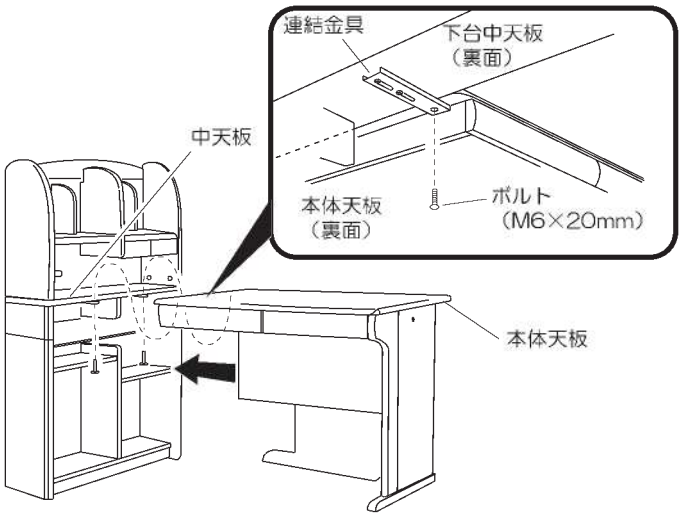
②連結金具の出っ張りに本体天板を仮置きし、連結金具の穴と本体天板裏面のナット位置を合わせてください。

③連結金具と本体天板を、ボルト（M6×20mm･2本）を用いて締め付けてください。

④天板と中天板の間に隙間があるときは、長穴側のボルトを緩め隙間が無いよう、調整してください。

⑤ライトの付け替えは17ページを参照してください。





5 使用方法

（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

■ 袖箱の使用方法

（1）キャスター取付け・使用方法

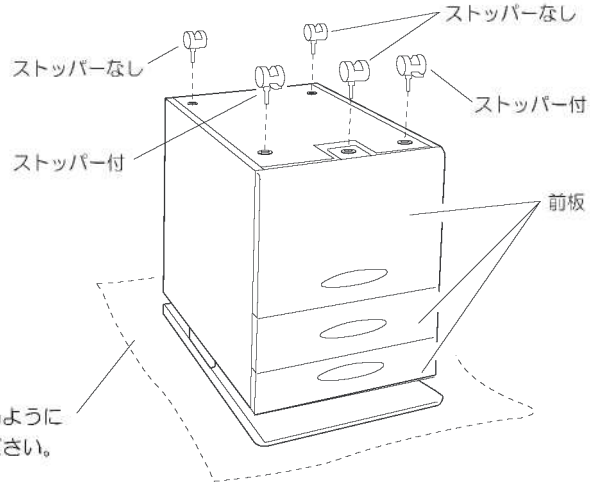
①地板の裏にキャスター4個をしっかり差し込んでください。

②下段引出しの下のキャスター取付穴にキャスター（ストッパーなし）1個をしっかり差し込んでください。

ワゴン付属部品		
キャスター（5個入）	ペントレー	仕切板（下引出し用）
SAT9WC94G	SAT1PE50G	
×1 セット	×1	×2

※キャスター1セットは、ストッパー付が2個、ストッパー無しが3個となります。

●袖箱はキャスターにより、自由に移動できます。
●移動を止めたい時は、袖箱の前方両端のキャスターのストッパーレバーを押し下げてください。

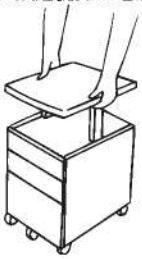


（2）袖箱昇降天板　上下操作方法

●天板を上げるとき

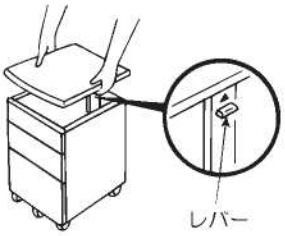
①両手で天板の左右を持つ。

②ゆっくりと持ち上げる。（12段階調節できます。）

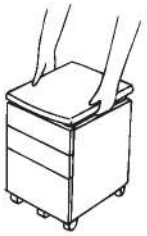


●天板を下げるとき

①両手で天板の左右のレバーを上に引き上げる。



②レバーを引き上げたままゆっくりとおろす。



⚠ 警　告

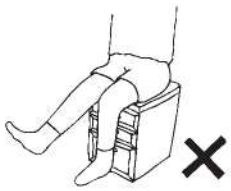
●天板には20kgを超えるものをのせないでください。
けが・破損の原因になります。

（天板中央部垂直耐荷重：100kg）

●昇降天板は水平を保つようにして固定してください。
➡傾いたまま使っていると、天板の上のものが落ちたりして、けが・破損の原因になります。

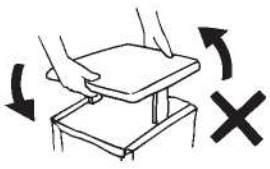
●天板や引出しの上に乗らないでください。
➡けが・破損の原因になります。

●激しく動かしたり、押して遊んだりしないでください。
➡倒れてけがをしたり、他のものをこわしたりする原因になります。



●水平をたもつように置いてください。
➡ガタツキのまま使っていると、引出しの出し入れがスムーズでなかったり、けが・破損の原因になります。

●昇降天板の可動操作は、両手でゆっくり確実に行なってください。
➡無理な力を加えたり、固定が不完全ですと、けが・破損の原因になります。



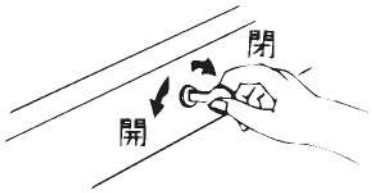
●昇降天板面にものをのせた状態で、天板可動操作はしないでください。
➡けが・破損の原因になります。

5 使用方法

■使用方法

(1) カギの使用方法

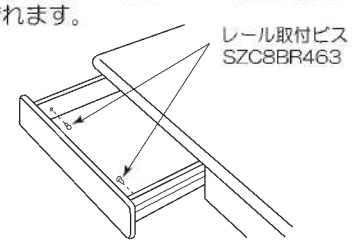
●カギを差し込んで、右へ180°まわすと閉まります。
●カギを差し込んで、左へ180°まわすと開きます。
※カギは全機種共通の為、盗難防止の保証はいたしかねます。
⚠カギは最後まで差し込んでから操作してください。
また、まわし過ぎないようにしてください。
➡カギや錠前の破損の原因になります。

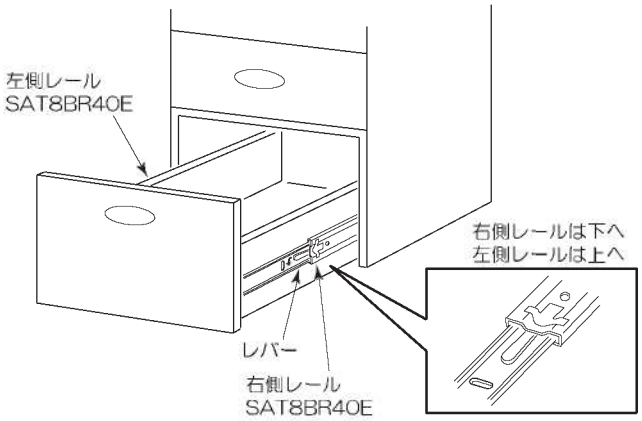


(2) 引出しの使用方法

<引出しのはずし方>
①金属レール（デスク本体、袖箱上・中引出し）
●引出しは、内面のレール取付ビス(左・右)２本をはずすと抜き取れます。
② 袖箱下引出し3段引きフルオープン
●右側レールはレバーを下へ、左側レールはレバーを上へ押しながら引出しを抜くとはずれます。

<引出し内の耐荷重>
デスク本体引出し…６kg
上棚小引出し　……１kg
袖箱上引出し　……５kg
袖箱中引出し　……５kg
袖箱下引出し　……２０kg

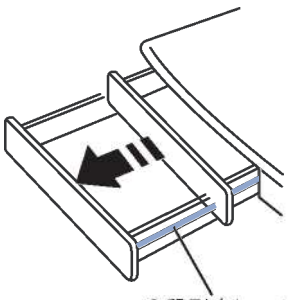


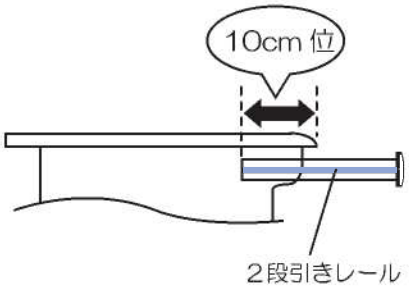


■引き出しがかたくなったときは．．．

●デスク引き出しには、2段引きレールを使用しています。
このレールの構造特性上、引き出しを最後まで引き出さず、開閉をくりかえし使い続けた場合、引き出しがかたくなることがありますが、故障ではありません。
数回に分けて少し強く引き、最後まで引き出してください。

●これでも改善されない場合は、レールの破損も考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。



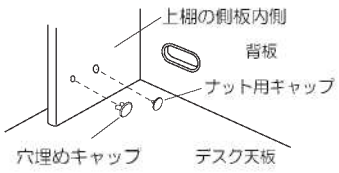


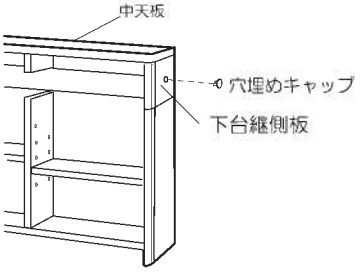
(3) 棚板の耐荷重

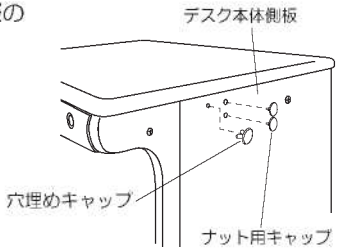
●可動棚……12kg　●上固定棚……25kg

(4) ナット用キャップの取付け・穴埋めキャップの取付け

（ナット用キャップの取付け）
● コンセントボックス、カバンフックを取付けたあと残るネジ穴に、ナット用キャップをはめ込んでください。
（穴埋めキャップの取付け）
● コンセントボックスを取付けたあと残る穴に、穴埋め用キャップをはめ込んでください。
● ステップ2、ステップ3のスタイルに組み立てた際の下台継側板の穴に穴埋め用キャップをはめ込んでください。







5 使用方法

■コンセントボックスの使用方法

（1）上棚への取付け方法

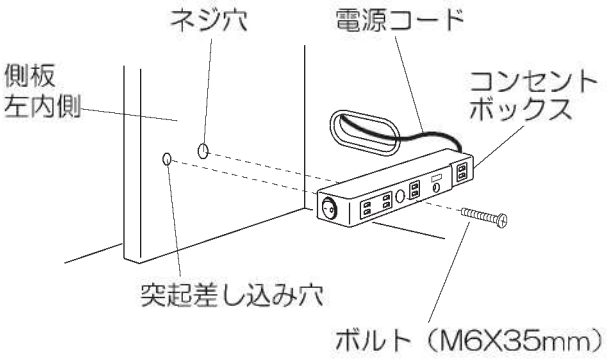
①上棚の側板の右内側、または左内側にあるコンセント取り付け用の穴に、コンセント裏面にある突起部を差し込んでください。

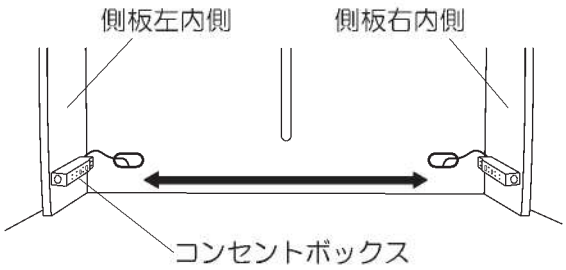
②コンセント中央にあるネジ穴に、ボルト（M6X35mm・１本）を差し込み、⊕ドライバーを用いてしっかり固定してください。
⃠確実にコンセントを取り付けてください。
➡落下により、けが・破損の原因になります。

③電源コードは上棚の背板のコード通し穴を通して、室内の壁コンセントに接続してください。

※コンセントを上棚に取り付ける場合、お好みに応じて上棚の正面の向かって左、または右に取り付けることができます。

※電源コードの差し込みプラグは、必ず壁コンセントから抜いた状態で、取り付け、付けかえを行なってください。





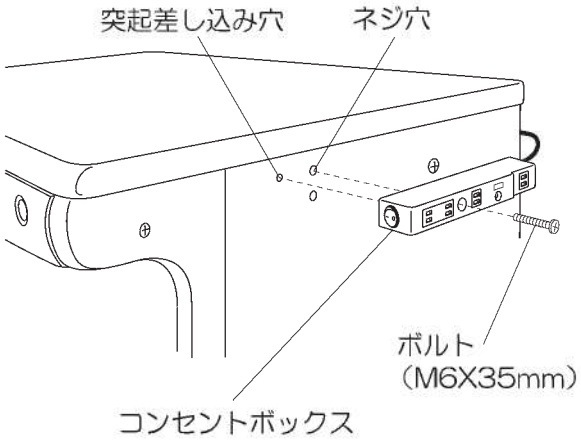
（2）デスク本体への取付け方法

①本体の側板の右外側、または左外側にあるコンセント取り付け用の穴に、コンセント裏面にある突起部を差し込んでください。

②コンセント中央にあるネジ穴に、ボルト（M6X35mm・１本）を差し込み、⊕ドライバーを用いてしっかり固定してください。
⃠確実にコンセントを取り付けてください。
➡落下により、けが・破損の原因になります。

※コンセントを本体の側板に取り付ける場合、お好みに応じて本体の左側板、または右側板に取り付けることができます。

※電源コードの差し込みプラグは、必ず壁コンセントから抜いた状態で、取り付け、付けかえを行なってください。



5 使用方法

(3) 机のコンセントは4口で、合計1300ワット（W）までの家電製品が使用できます。

⃠ご使用時に使用する家電製品の定格消費電力のワット（W）数の合計が1300ワット(W)以下となることを確かめてからご使用ください。エアコンや掃除機等のように定格消費電力以外のワット(W)数表示のある家電製品がありますのでご注意ください。

➡合計が1300ワット(W)を超えた状態でご使用になりますと、ブレーカーがはたらきコンセントが使用できなくなります。

⃠ライト専用コンセントは、付属のライト以外には絶対に使用しないでください。

➡付属のライト以外の家電製品を使用されますと火災･発煙･過熱の原因になります。

※机のコンセントで使用できない場合は室内の壁コンセントで家電製品をご使用ください。

⃠コンセントへの差し込みプラグの抜き差しの際は、片手でコンセント側、もう一方の手でプラグを持ち、ゆっくりと確実に行なってください。

➡コードが早くいたんだり、火災･感電･破損の原因になります。

⃠このコンセントは固定した状態で使用する様に設計されています。ボルトを外した状態での使用や延長コードとしてのご使用はおやめください。

➡コードが早くいたんだり、火災･感電･破損の原因になります。

⃠その他のネジ類をはずしたり、分解･修理･改造は絶対しないでください。

➡火災･感電の原因になります。

⃠プラグは完全に根元まで差し込んでください。

➡不完全ですと、火災・感電の原因になります。

(4) ブレーカーがはたらいた場合

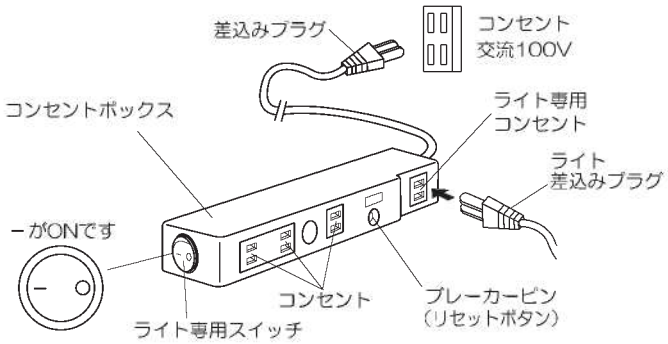
ブレーカーピンが手前に飛び出します。

①コンセントボックスのすべてのコンセントから電源コードを抜いてください。

②ブレーカーピンを押し込んでください。

⃠ ご使用の家電製品の定格消費電力ワット（W）数の合計が１３００ワット（W）を超える場合、その他過電流が流れる場合は、原因を取り除いたうえ、ご使用ください。

➡原因を取り除かずに、リセット操作を繰り返した場合、発煙・過熱・変形の原因となります。

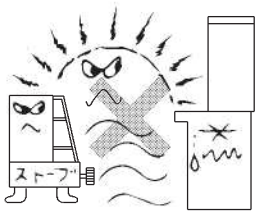


■家具のすえ付け時のご注意

①すえ付け場所

⚠直射日光や熱・冷暖房器の強風等が直接当らないようにしてください。

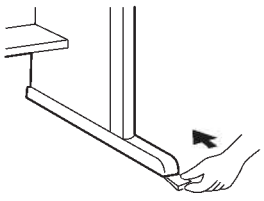
➡家具がゆがんだり、変色したりする原因になることがあります。



②水平設置

⚠水平を保つように置いてください。水平でない場合、家具の下に詰めものなどをして水平にしてください。

➡ガタツキのまま使っていると、引出しの出し入れがスムーズでなかったり、家具がこわれたり、けがをする原因になることがあります。



6 照明器具の使用方法

使用前に必ず確認してください。

⚠ 警 告

●この照明器具は非防水です。湿気の多い場所や水のかかる場所では使用できません。
→火災・感電・絶縁不良の原因になります。
●異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響の受ける場所では使用できません。
→火災・感電・落下・錆びの原因になります。
●サウナ風呂等の高温場所では使用できません。
→火災・焼損・やけどの原因になります。
●指定のランプ以外は使用しないでください。
→焼損・過熱・変色の原因になります。
●照明器具やランプに布や紙等燃えやすいものをかぶせたり、近づけたりして使用しないでください。
→火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。
●照明器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
→感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。
●ランプ外管が割れた場合は絶対に点灯させないでください。
→感電の原因になります。
●電源の接続は使用方法に従って確実に行なってください。
→接続が不完全な場合、故障の原因になります。
●まくら元およびベッドで使用しないでください。
→倒れた場合、火災の原因になります。
●据置面には十分に注意し、安定した場所でご使用ください。
→倒れた場合、火災の原因になります。
●器具から煙が出たり、変な臭いがしたときは、速やかに電源を切ってください。
→放置しますと火災・落下・けがの原因になります。販売店にご相談ください。
●電源コードが損傷した場合（芯線の露出・断線等）速やかに販売店に修理を依頼してください。
→そのまま使用しますと、火災・感電の原因になります。
●ランプが点滅を繰り返す等、正常に点灯しない場合は、直ちに電源を切りランプを交換してください。
→放置しますと、焼損・過熱・故障の原因になります。
●器具のすきまや放熱穴等に金属類を差し込まないでください。
→感電・故障の原因となります。
●カーテン等可燃物の近くで使用しないでください。
→火災の原因になります。

⚠ 注 意

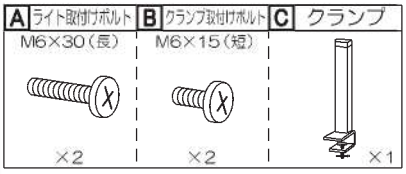
●この照明器具は屋内専用器具です。屋外では使用できません。
→火災・感電・故障の原因になります。
●寒暖の差の激しい場所では使用しないでください。
→感電・絶縁不良・ランプ破損・器具内部の結露の原因になります。
●点灯中及び消灯直後は照明器具やランプが高温になっていますので素手で触らないでください。
→やけどの原因になります。
●この照明器具は周囲温度5℃～35℃、湿度45%～85%の中で使用してください。
→高温・高湿の場合は焼損・過熱・故障・変形・変色の原因になります。低温の場合、蛍光灯は暗くなったり点灯しないことがあります。
●照明器具の定格電圧と電源電圧を必ず確認してください。
→間違って器具に過電圧を加えた場合、ランプ短寿命及び火災・過熱の原因になります。
●照明器具に貼り付けている注意シールの指示に従ってください。
→守っていただかないと火災・感電・落下・けが・故障の原因になります。
●照明器具の近くや電波状況の弱い場所ではラジオ・補聴器・電話器・音響製品等に雑音が入る場合があります。
→器具とラジオ・補聴器・電話器・音響製品等を150㎝以上離してご使用ください。
●照明器具の近くでリモコン（コントローラ）を操作した場合、誤動作することがあります。
→器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
●部屋の他の器具と併用し、スタンドのランプが直接目にあたらないようにセードの角度を調節してご使用ください。
→目の健康にご注意ください。
●ランプと被照射物とは10㎝以上離してください。
→被照射物の焼損・変形・変色の原因になります。
●電源を入れたまま、ランプの取付け、取外しはしないでください。
→感電・故障の原因になります。
●電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
→電源コードが損傷し、感電・故障の原因になります。
●点灯中、ソケットからランプを抜いたり差したりしないでください。
→保護装置が働き、再点灯しないことがあります。
●ぬれた手で差し込みプラグを抜き差ししないでください。
→感電の原因になります。
●器具やランプに着色等をしないでください。
→焼損・過熱・故障・変色の原因になります。
●点灯および消灯直後に音が発生する場合があります。熱による器具構成材料の収縮音です。
→ひどい場合は販売店にお申し出ください。

6 照明器具の使用方法 （イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

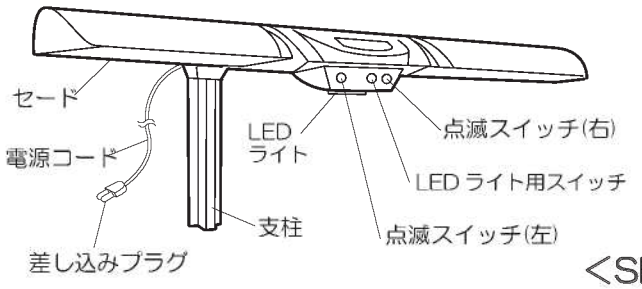
■ライトの取付け・使用方法

（1）ライト各部の名称および付属部品

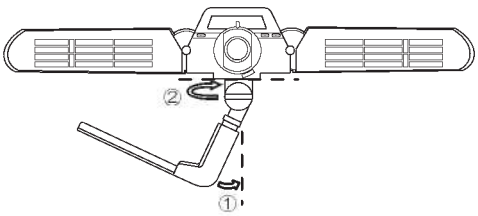
■ライト付属品



A のボルトは最初から取付けてあり、
B のボルトはクランプの後にテープ止めしてあります。



<SB-043>



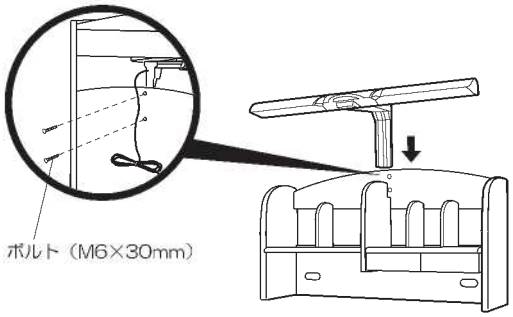
※箱から取り出したのち
①②の順で矢印の方向に可動部を
動かして、正しい位置に調整してください。

（2）上棚への取付け方法

①右図を参照してライトの支柱を上棚の中央仕切板の切り込み部分に横からはめ込んでください。

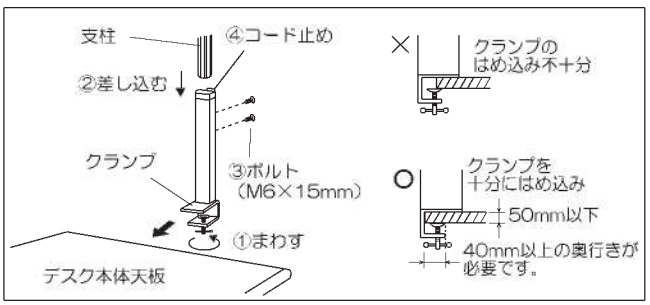
②上棚の背板の裏側からボルト（M6×30mm・2本）を使い、しめ込んで固定してください。
⃠ライトはかなりの重量がありますので上棚への取付時にはあらかじめ重さを体感いただき、上棚にキズが付かないようご注意願います。
※クランプ用取付けボルト、クランプは上棚を外した際、ライトをデスク本体に取付ける時に必要ですので大切に保管してください。

③ライトの差し込みプラグをライト専用コンセントに差し込んでください。
➡ライト専用コンセント以外に差し込んだ場合、ライト専用スイッチと連動しません。



（3）クランプでの取付け方法

①クランプ本体を机にはさみ込んでハンドルを回して、回らなくなるまで締めてください。
②クランプの上にライトの支柱を差し込んでください。
③後からボルト2本（M6×15mm）で固定してください。
⃠転倒の原因となりますので、クランプは弱い場所（薄板、かかり代の少ない所、丸棒等）には付けないでください。
⃠指定のボルトサイズ以外のボルトは使用しないでください。
➡感電・故障の原因となります。
④電源コードをクランプ背面上端のコード止めにはめ込んでください。



⚠設置のご注意
⃠不安定な場所、状態での使用は避け、クランプを使用する場合はクランプを机等に十分にはめんで確実に取付けてください。
（クランプの取付けは 板厚50mmまで、取付可能です。）
また、強度の弱い箇所（しなる、曲がる、反る）には取付けないでください。はめ込み及びクランプ止めネジの締め付けが不十分な場合、ガタツキ、倒れ等の原因になります。なお、安全のため取付け後可動させてゆがみがないか、ガタツキがないか再確認してください。傾斜した机等に取付けますと正常な可動ができません。棚にボルトで締め付けて固定させた場合も取付け後に安全の確認をしてください。

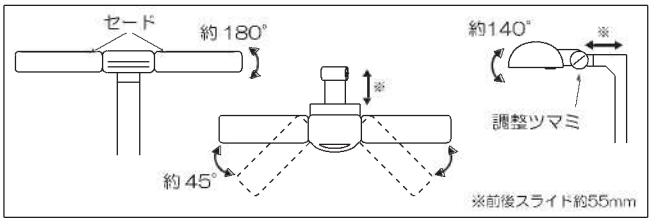
6 照明器具の使用方法 （イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

（4）電源コードの接続

⃠ 電源コードの差し込みプラグを交流100ボルト（V）のコンセントにしっかり差し込んでください。
➡火災・感電の原因になります。
⃠ コンセントの差し込み口がゆるまない状態でご使用ください。
➡ゆるんだままご使用になりますと、火災・加熱の原因になります。
ゆるんでいる場合は必ず電気店に点検、修理を受けてからご使用ください。

（5）操作方法

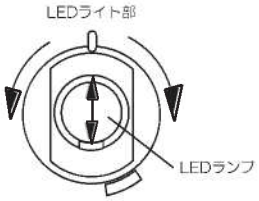
●ライトの動作範囲は、右図のようになっています。
●セードをお好みの角度に調整してください。
各部の動きが軽くなったり、セードが下がってきた場合は
調整ツマミを右に強く回してください。
●セードは左右両端からそれぞれ約45°手前に可動します。
⃠ 各部にストッパーがついていますので、無理に回さないで
ください。
➡ライトの破損や断線を引き起こし、火災・感電の原因になります。



(6)ライトの機能

※LED付ライト：SB-043

中央部にあるLEDライトは、スイッチの操作によりスポットライトとして点滅が可能です。
また、図のように矢印の方向に動かすか、回転させて照射方向を変えることができます。



⃠ LEDライトに、無理な力を加えないでください。
➡ライトの破損や断線を引き起こし、火災·感電の原因になります。
⃠ 点灯時のLEDランプを直接見ないでください。
➡ 長時間直視しますと、目の健康を害する恐れがあります。

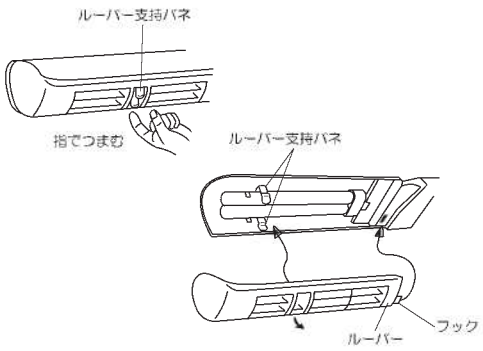
（7）ランプの交換方法

⃠ ランプの交換の際は、必ず電源を切って、しばらくしてから行なってください。
➡ 電源を切らないと感電の原因となることがあります。また、点灯中や消灯後
に、ランプ及びランプ周辺をさわると、やけどの原因になります。
⃠ ランプは適合したランプを使用してください。（下表参照）
➡ 適合しないランプを使用すると、火災の原因になります。

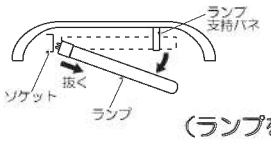
ライトタイプ	定格電圧	周波数	適合ランプ
SB-043 ライト	AC 100V	50Hz / 60Hz 共用	東芝ネオコンパクト蛍光ランプ EFP12EN X 2本

⃠ ランプが寿命になりますと保護回路が働き、そのランプは突然消灯しますが、
故障ではありません。
ランプを交換し、約5分後に電源を入れ直せば正常に点灯します。
➡ 一旦両方のスイッチを切ってから電源を入れ直してください。
再点灯しない場合、スイッチON・OFF操作を2・3回行なってください。

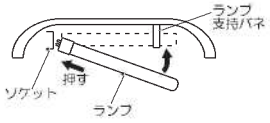
（SB-043 ライトの場合）



（ランプを取りはずす時）



（ランプを取り付ける時）



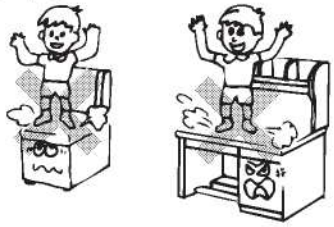
●【SB-043】ライトの場合

①ランプルーバーの支持バネを指でつまみ、ルーバーを矢印の方向に引き出す。
③ランプをランプ支持バネから外し、ソケットから引き抜いてください。
④ランプを右図の要領でソケットに差し込み、ランプ支持バネに、はめ込んでください。
⃠ ランプの取付けは丁寧に、根元がカチッとはまるまで確実に差し込んでください。
➡ 破損・落下の原因になります。
⑤ルーバーを取り付けてください。フックに差し込んでからルーバーが支持バネに引っ掛かるまで押し上げてください。

7 使用上のご注意

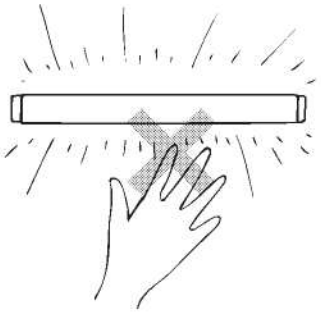
⚠ 警　告

●けが・破損の原因になります。



机やいすの上に立ったり、とんだり、踏み台代りに使ったり、不安定な姿勢で掛けたりしない

●やけどの原因になります。

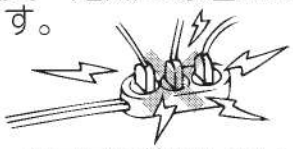


点灯中や消灯直後のランプおよびその周辺をさわらない

●火災の原因になります。

器具やランプに布・紙等をかぶせたり、近づけたりしない

●火災・過熱の原因になります。

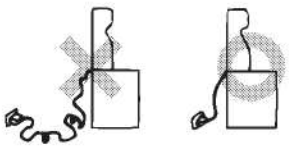


タコ足配線はしない

引出しや引手の上に乗ったり、扉等にぶら下ったり、むりな力で引っ張ったりしない

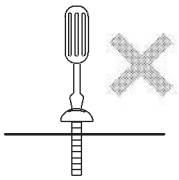
●火災・感電の原因になります。

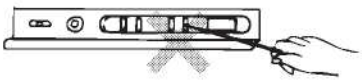
水洗いしたり、ぬれた手でさわったりしない



電源コードを、無理に曲げたり、ねじったりしない

固定用ネジ類がゆるんだまま使用しない





コンセントや器具に棒等の異物を差し込まない

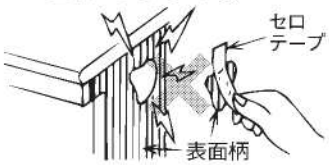
差し込みプラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く

⚠ 注　意

●こげ・変色の原因になります。

家具の上に、加熱したなべ・やかん等を直接置かない

●表面が、はがれることがあります。



シールやセロテープ等を貼らない。

●変色・変質の原因になります。

シンナー・ベンジン等でふいたり、殺虫剤をかけたりしない

●天板の上で硬いボールペン等で書くとキズが残ることがあります。マット、下敷をお使いください。

●塗料や接着剤等のにおいが残っている場合、換気を十分にして取り除くようにしてください。

8　点検と修理が必要なとき

1 より安全にご使用いただくために次のような異常があったときはお買い上げの販売店にご相談ください。

- ●コンセントや差し込みプラグが異常に熱いとき
- ●器具接合部のゆるみやコードの損傷があるとき

2 部品交換の場合は電源コードの差し込みプラグを抜いてから交換をしてください。

- ●電流ヒューズの交換　　●ランプの交換

⃠器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
➡火災・感電の原因になります。

3 取扱説明書どおりに使用されてもまだ不明な点があるときはお買い上げの販売店にご相談ください。

SA·FU

無断転用を禁ず

(社)日本家具産業振興会
☎03-3261-2805

9　コイズミ学習机保証書

品番	ODF-299NS・ODF-300BS （デスク引出し内の白いラベルで品番をご確認ください。）
お客様	お名前
	ご住所　〒 電話番号（　　）　　—
お買い上げ日	販売店名･住所･電話番号
年　月　日	
保証期間（お買い上げ日より）	
3ヶ年	

＊ご販売店様へ
必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。

この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

（お願い）お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保存してください。

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には無料修理**をさせていただきます。
　①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。**
　②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記のご相談窓口へご連絡ください。
2．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　②お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
　③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障及び損傷
　④消耗品の消耗、又はそれによる故障
　⑤本書のご提示がない場合
　⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き替えた場合
3．本書は日本国内においてのみ有効です。
4．本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

コイズミファニテック株式会社　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

10　お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◆お客様相談室　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号　☎06（6658）7382

コイズミファニテック株式会社　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

平成23年現在（所在地、電話番号等については変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）